

**天体撮影専用のフルサイズミラーレスカメラ“EOS Ra”を発売
天体撮影に適した光学特性により赤い星雲を鮮やかに描写**

キヤノンは、本格的な天体撮影^{※1}を実現するフルサイズミラーレスカメラ“EOS Ra”を、2019年12月上旬より発売します。



EOS Ra
*RF15-35mm F2.8 L IS USM 装着時

“EOS Ra”は、天体写真を愛好するハイアマチュアユーザーなどに向けて「EOS R」（2018年10月発売）をベースに開発した、天体撮影専用のフルサイズミラーレスカメラです。有効画素数最大約3030万画素^{※2}・フルサイズCMOSセンサーと天体撮影に適した光学特性を備えており、天文ファンの間で人気の高い赤い星雲などを高精細かつ鮮やかに描写することができます。

■ 天体撮影に適した光学特性と「EOS R システム」による高精細な撮影

CMOSセンサーの前面に配置しているローパスフィルターの特性を、ベースとなるカメラ「EOS R」から変更することにより、H α 線^{※3}の透過率を「EOS R」と比較して“EOS Ra”は、約4倍に高めています。また、有効画素数最大約3030万画素・フルサイズCMOSセンサーと映像エンジンDIGIC 8の組み合わせにより、最高ISO40000の常用ISO感度と低ノイズの撮影を実現しています。これにより、干潟星雲（M8）や三裂星雲（M20）、エータカリーナ星雲など赤みの強い星雲を、高精細かつ鮮やかに撮影することができます。

■ 天体撮影に便利な操作性

小型・軽量ボディにバリエーション液晶モニターを搭載し、三脚にカメラを固定したままでも、モニターでの撮影設定の調整と映像確認ができます。さらに、映像の拡大倍率は「EOS R」の最大10倍から最大30倍に変更しています。液晶モニター上で細かな星を大きく拡大表示することができるため、天体撮影時に厳格なピント合わせが可能です。

製品名	希望小売価格	発売日
EOS Ra	オープン価格	2019年12月上旬

※1 “EOS Ra”は、天体撮影専用仕様のため、天体以外の一般的な被写体の撮影はお勧めできません。一般の被写体を撮影した場合、実際より赤みの強い撮影画像になります。また、適切なカラーバランスを得られないことや、部分的な色ムラが発生することがあります。

※2 1万の位を四捨五入。EF/RFレンズ使用時、使用するレンズまたは画像処理により、有効画素数が減少することがあります。総画素数約3170万画素。

※3 星雲などが放つ光の波長の一つ。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター

050-555-90002

● E O S ホ ー ム ペ ー ジ : canon.jp/eos

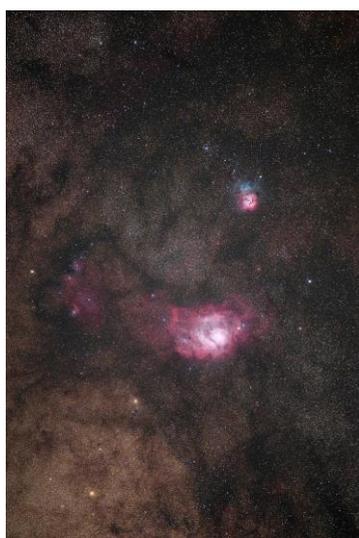
<主な特長>

1. 天体撮影に適した光学特性と「EOS R システム」による高精細な撮影

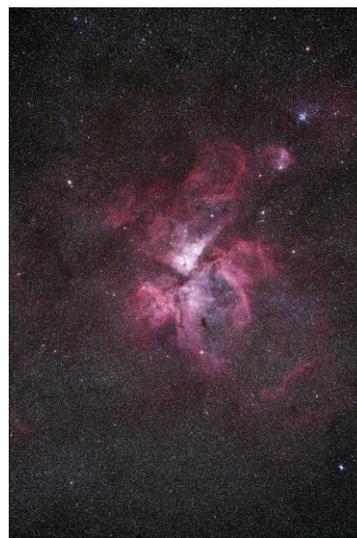
- ・ CMOS センサーの前面に配置しているローパスフィルターの特性を、ベースとなるカメラ「EOS R」から変更することにより、H α 線の透過率が「EOS R」と比較して約 4 倍に向上。これにより、一般的なデジタルカメラでは淡く写ってしまう H α 線の波長で光る、干潟星雲 (M8) や三裂星雲 (M20)、エータカリーナ星雲など天体ファンの間で人気の高い赤みの強い星雲を、高精細かつ鮮やかに撮影することが可能。
- ・ 有効画素数最大約 3030 万画素・フルサイズ CMOS センサーと映像エンジン DIGIC 8 の組み合わせにより、最高 ISO40000 の常用 ISO 感度と低ノイズの撮影を実現。高い ISO 感度を生かすことで、露光時間を短くすることが可能。また、ISO 感度を上げることで、構図決めの際に行う試し撮りの露出時間の短縮に貢献。
- ・ 4K/30p 動画^{※1} の撮影を実現。さらに一定間隔で撮影した画像を自動でつなぎ合わせ、長時間の変化をコマ送りのような動画で短時間にまとめる「4K タイムラプス動画」の撮影が可能。星の流れる様子を高精細に記録。
- ・ フル HD/60p 動画^{※2} 撮影時は、常用 ISO 感度 100~25600 での撮影が可能。

※1 29.97fps/25.00fps。4K 動画はクロップ撮影。常用 ISO 感度は 100~12800。

※2 59.94fps/50.00fps。



下：干潟星雲 (M8)、上：三裂星雲 (M20)



エータカリーナ星雲

* 上記画像は「EOS Ra」で撮影し、キヤノンの画像編集ソフトウェア「Digital Photo Professional」で編集して作成しています。

2. 天体撮影に便利な操作性

- ・ 約 135.8 (幅) × 約 98.3 (高さ) × 約 84.4 (奥行) mm/質量約 660g (カード・バッテリー含む) [※]の小型で軽量のボディーに、バリアングル液晶モニターを搭載。天体撮影で用いられる赤道儀や三脚を使用した撮影などで、撮影位置が低くなるような姿勢でも、カメラを固定したままモニター画面を操作し、確認することが可能。
- ・ 映像の拡大倍率は「EOS R」の最大 10 倍から最大 30 倍に変更。1/5/30 倍の拡大倍率に対応し、画面上の細かな星を拡大表示し、タッチ操作で簡単にピント合わせが可能。特に 30 倍では細かな星も拡大可能。
- ・ 約 369 万ドットの有機 EL パネルを採用した視野率約 100% の高精細な EVF (電子ビューファインダー) を内蔵。星の視認性が良く、星景写真などでの構図決めに有効。

※ 大きさ、質量は CIPA ガイドラインによります。

3. 撮影の幅を広げる充実の EOS システム（別売）

- ・RF マウントの特長である大口径・ショートバックフォーカスによる高画質を実現した「RF15-35mm F2.8 L IS USM」（2019年9月発売）や「RF50mm F1.2 L USM」（2018年10月発売）など、70種類以上のEF/RFレンズを使用することが可能※。
- ・タイマーリモコン用変換ケーブル「リモートコントローラーアダプター RA-E3」（2015年11月発売）を介し、「タイマーリモートコントローラー TC-80N3」（2007年9月発売）を使用することで、バルブ撮影時の露光時間設定や、インターバルタイマー機能を利用した自動撮影が可能。
- ・バッテリーグリップ「BG-E22」（2018年10月発売）を“EOS Ra”本体に装着することにより、長時間の撮影が可能。

※ EF レンズは、「マウントアダプター EF-EOS R」／「コントロールリング マウントアダプター EF-EOS R」／「ドロップインフィルター マウントアダプター EF-EOS R ドロップイン 円偏光フィルターA付」／「ドロップインフィルター マウントアダプター EF-EOS R ドロップイン 可変式NDフィルターA付」を装着することで使用することができます。EF-M レンズ、CN-E レンズは除きます。なお一部の EF レンズで使用できない機能があります。また一部の EF/RF レンズを使用して長時間露光、高 ISO 感度で撮影を行うと、撮影条件により画像に色ムラが発生することがあります。



「タイマーリモートコントローラー TC-80N3」



バッテリーグリップ「BG-E22」

<レンズ交換式カメラの市場動向>

2018年の世界のカメラ市場におけるレンズ交換式カメラの販売台数は、約1,030万台となりました。2019年は、約860万台を見込んでいます。（キヤノン調べ）

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。